評価シート番号：7

まち・ひと・しごと創生総合戦略　評価シート（取りまとめ）

【 基 本 情 報 】

基本目標1	小金井の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるまち			
基本的方向2	小金井の魅力を発信するシティプロモーションの推進			
指標	観光協会のホームページアクセス数		担当課	経済課
指標の説明	小金井市観光協会（現：一般社団法人小金井市観光まちおこし協会）ホームページのアクセス数（セッション数）			

【 重要業績評価指標（KPI） 】

	目標	結果	評価	結果の説明	次年度に向けての課題・展望	委員評価			委員評価取りまとめ（案）
						委員名（敬称略）	各委員評価	各委員理由	
26年度	74，982件								
27年度	↓	78，631件	B	イベントの内容やフェイスブックの充実を図ったことでアクセス数の増加につながったと思われる。	平成28年4月に小金井市観光協会は法人化し、中間支援組織としての役割も担う一般社団法人小金井市観光まちおこし協会となった。ホームページ更新を専門に行う人員も配置したことから、更なる内容の充実・アクセス数の増加が期待できる。	平成31年度の目標を達成するために、市内在住者だけではなく、市外の方にも認識していただく必要がある。ホームページへのアクセス数増加を各種イベントへの来場数増につなげる工夫が必要である。			
28年度	↓	79，196件	B	ホームページ更新を専門に行う人員も配置したことから、フェイスブックを含むホームページの内容が更に充実し、アクセス数の増加に繋がっている。	ホームページの全面リニューアル（平成29年5月）に向けて準備を進めており、今後は観光情報の受発信に加え、中間支援組織としての情報もより積極的に取り扱う予定である。	渡 邊	○	情報インフラは有用なツールであり、更に積極的に重点的に取り組むことを望む。とりわけ市にある高等教育機関（大学、専門学校）で、この分野を専門とする教育者や研究者および学生がいる。彼らとのコラボレーションも検討する価値がある。	目標達成に向けて、積極的に取り組んでいるものの、人員の増加と内容の充実に対しアクセス数の増加が限定的であった。リニューアル後の増加に期待したい。併せて、イベント自体の魅力向上や、市内高等教育機関(大学、専門学校)との連携により若者の意見を取り入れる等、取り組んでいただきたい。
						小 川	○	アクセス数増加が素晴らしい。	
						松 本	△	0．7%増加したことをもって「アクセス数が増加した」と捉えることは疑問。5年かけて44%増の目標を設定すること自体問題であり、発想の転換が必要ではないか。	
						鴨 下	×	人員配置し、内容が充実したのならばアクセス数はもっとあがるべきなのではないか。	
						橋 田	△	同時にイベント自体の魅力向上が必要。	
						本 間	○	観光PRは以前より進んでいるように見える。観光まちおこし協会の役割も幅広いものがあり、そのためにも中間支援組織の今後の活動と実績づくりに大いに期待したい。	
						沼 崎	△	アクセス数が伸び悩んでいる。充実させることも大事だが、認知度を高める工夫を強化してはどうか。	
						小 宮	△		
						天 野	×	増加率としては人員増加による効果が表れていないようだが、リニューアル後に期待したい。	
						合 計			
						○	3	△ 4	× 2
29年度	↓								
30年度	↓								
31年度	108，000件								